

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	社会福祉法人すみれ会 西院保育園	施設 種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 3 年 3 月 1 7 日

総 評	<p>昭和 5 1 年の開園以来、「一人ひとりの子どもたちに生命（いのち）の尊さを」を保育経営理念に掲げ、理事長、園長を始め、職員が登園する保護者と園児の安全を図るために、交差点等に立ち、交通安全誘導をしています。管理職自らが子どもたちの命を守るための取り組みを実践しています。</p> <p>職員と保護者が工夫をこらし協力して造った園庭には、季節の花が咲き、都会の立地でありながらも、自然が感じられるような環境作りをしています。</p> <p>食育の活動では、調理師が月一回、食べ物に関する絵本の読み聞かせを行い、子どもたちと一緒に野菜を育て、収穫したものを給食で食べています。</p> <p>また、子ども一人一人の健康状態を朝に保護者から聞き取り、検温をして把握しています。職員は全員が救命救急講習を受け、必要に応じて対応できるシステムができています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>園長のリーダーシップのもと、職員は「報告・連絡・相談」をし、保育を行っています。</li> <li>全体的な計画を踏まえて、保育内容会議や職員会議で話し合いのもとに、各計画を作成しています。</li> <li>異年齢保育及び障害児保育におけるインクルーシブ保育を実施している中で、個人ケース記録に、一人一人の成長や発達、課題について丁寧に記録しています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の課題として、平成 29 年に保育所保育指針が改定され、入園から卒園までの子どもの育ちを見通した計画について、保育課程から全体的な計画に変更になっていますが、保育課程と称され作成されていました。今後は、指針に基づいて名称を変更して作成されることが望めます。</li> <li>実践している保育の方法などを、文書化することにより、園としての標準的な実施方法についての共有が図られ、見直しを行うなどの機会になるので、整備されるとなお良いでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

## 【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	社会福祉法人すみれ会 西院 保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	令和3年3月17日

**I 福祉サービスの基本方針と組織**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a

[自由記述欄]

・基本方針、基本理念が明文化され、年一回の保育方針説明会を通して保護者や職員に周知されています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b

[自由記述欄]

・事業経営をとりまく環境については把握されていますが、今後は、地域の潜在的ニーズの把握や分析をされ、経営課題を明確にされるとなおいでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	a
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが行われ、職員が理解している。	a	a
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	a

[自由記述欄]

・現在の中・長期計画等を活用し、単年度の計画が策定されるとなおいでしょう。  
・事業計画は、職員と保護者に周知され、評価・見直しも組織的に行われています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a

[自由記述欄]

・第三者評価受診は二回目となり、今回も、管理者及び各主任は、職員会議等でこれまでの保育内容を見直す機会を設け、職員同士で意見交換を実施しています。その内容は全職員が共有し、改善に向けて取り組んでいます。また、自己評価も導入し、質の向上を図っています。

**II 組織の運営管理**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a

[自由記述欄]

- ・ 保育の経営理念を明確にし、全ての会議に管理者は参加し、常に園全体の保育が、園の方針に沿ったものとなるよう取り組んでいます。
- ・ 年間指導計画、短期指導計画は整合性を持って策定されており、全ての計画は管理者が評価を実施しており、次の計画に活かされています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a

[自由記述欄]

- ・ 管理者と職員の面談を年一回実施しており、職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。
- ・ 保育方針・園規定に目指す職員像を明文化しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a

[自由記述欄]

- ・ 職員一人ひとりに、次年度の自己目標を考えさせ、それに対する課題を明確にするよう取り組んでいます。その内容は、管理者が確認し、職員にアドバイスをしています。
- ・ キャリアパス制度を導入し、園内・園外研修により職員の専門性を高めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a

[自由記述欄]

- ・ ホームページなどを活用し、情報公開を行い、地域に向けては、「糸電話」という広報誌を発行し、情報発信しています。
- ・ 公認会計士等の専門家の助言やアドバイスを受け、外部からも運営の透明性を確保する取り組みをしています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地 域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されて いる。	23	①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されてい る。	25	①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を 行っている。	26	①	保育所が有する機能を地域に還元している。	a	a
		27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	a
[自由記述欄]						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域との関係も適切に確保され、その結果、園児の遊び場としての園前公園の活用などに繋がっています。</li> <li>・ 地域子育て事業として、地域と協力してイベントを行ったり、地域のふれあい祭やふれあいコンサートに参加しています。</li> </ul>						

**Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a

[自由記述欄]

- ・個人情報保護に関するマニュアルを整備し、全職員に、その内容の周知・徹底を促す取り組みを行っています。
- ・入園希望の方に対して、園見学の受付や見学者へのパンフレット配布、保育内容を明示したホームページの開設など、必要な情報を提供しています。
- ・転園にあたり、転園先の保育所から要望があれば、継続性に配慮し、児童保育要録の提出をしています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	b
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a

[自由記述欄]

- ・苦情解決の仕組みを整備し、保護者にも明示しています。今後は利用者からの意見等が出やすい環境の工夫をされるとなお良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	a

[自由記述欄]

- ・全職員がヒヤリハットのマニュアルを周知し、事故やけがの記録をもとに会議で原因を話し合い、改善に取り組んでいます。
- ・門扉に自動施錠を設置しています。
- ・コロナ禍における保護者対応として、感染予防の観点から子どもを門の所で受入れ、一人一人の体温や前日の様子を担当職員が聞き取り記録して、安心・安全な福祉サービスの提供に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	b
		41	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a
		43	②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	a
[自由記述欄]						
<p>・保育は、適切なアセスメントに基づいて実施され、定期的に評価・見直しも行われています。また、子どもに関する記録も整備され、会議等で、職員間で共有されています。今後は、保育の標準的な方法を文書化されると、なお良いでしょう。</p>						

**A-1 保育内容**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	b	b
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	a

[自由記述欄]

- ・各年齢、食育等の指導計画は保育理念や保育方針に基づいて作成され、評価・反省も行っています。今後は、全体像を包括的に示す全体的な計画を文書化されると尚良いでしょう。
- ・園庭には、色々な木や花が植えられており、子どもたちが身近に興味を持てるような自然環境を整えています。
- ・子ども達が活動的な遊びができるよう、園庭での運動遊具の配置や屋上に活動できるスペースを確保する等、様々な工夫をしています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

- ・延長保育に対する環境は整備され、子どもに関する引継ぎ事項等は、乳児は連絡ノート、幼児は健康ノート（年齢別）で、体温や体調のこと、保護者への連絡事項等を記入し対応しています。
- ・障害児保育に対しては、どの子どもも当たり前にならなく一緒に保育するために、医療機関や専門機関と連携をして、「インクルーシブ保育」を実践し、お互いの存在を認め合いながら過ごしています。
- ・地域の小学校で行われる作品展の行事に参加したり小学生と触れ合う機会を作ったりして、就学に向けて見通しが持てるようにしています。



評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	①	子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-(4) 食事	60	①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	②	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

- ・子ども一人一人の健康状態を朝に保護者から聞き取り、検温をして把握しています。職員は全員が救命救急講習を受け、必要に応じて対応できるシステムができています。
- ・健康診断、歯科検診を定期的に行い、その結果を保護者に伝え必要に応じて医療機関への受診を促しています。
- ・アレルギー疾患のある子どもについては、保護者・園長・保育士・調理師で懇談を行い、除去食や代替食を提供しています。
- ・毎月一回の献立会議で喫食状況を把握し、旬の野菜を取り入れた献立を作成しています。

**A-2 子育て支援**

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

- ・3歳未満児の連絡帳や幼児クラスの「キラキラノート」（子どもの輝いている姿）の活用で、保護者との情報共有や情報交換が行われています。また、その内容も職員間で共有されています。虐待の徴候があれば、関係機関と連携する体制が整っています。
- ・朝の受け入れについては、子どもがスムーズには入れるように保育士が出迎え、気持ちを受け止める配慮をしています。
- ・保育士等の自己評価の仕組み・取り組みがあり、保育の改善、専門性の向上につなげています。